

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



(緑樹苑内撮影)

飛行日誌

私が担当(生活保護)をしていたKさんは、小さなプレハブをベニヤ板で仕切って、玩具箱のような駄菓子屋を営んでいた。幾らの稼ぎにもならないのに駄菓子屋を続けているのは、学校帰りの子供たちが立ち寄る場所になっっているからだだった。

Kさんは何時も物静かで、礼儀正しく、ずいぶん年下の私にも敬語で話した。ある日、Kさんを訪ねると、狭いながら整理が行き届いている部屋でお茶を淹れてくれた。それから、Kさんは普段とはちよつと違う口調で話し出した。

幼い頃のKさんは、三度の食事にも事欠くほどの貧しい家庭で育ち、ずいぶん体も小さく、大人しくて目立たない子だったらしい。学校では何時も虐められ、特に学級のボスの存在の男の子には、毎日のように殴られ、無理やり川を泳がされたり、畑の肥溜めに突き落とされたり、とかなり酷い仕打ちを受けたと言う。彼への恨みは何時までも消えず、Kさんはいつか、必ず復讐をしてやることを胸に秘めて生きてきたと話す。

そして、歳月は流れ、二人はついに再会した。そこは、沖縄戦真っ只中の洞窟の中だった。Kさんが家族と一緒に避難している洞窟に、脚を負傷し、着の身着のまま助けを求めて入ってきたのが、彼だった。Kさんは一目でわかった。そして、彼の方もKさんだと分かっていた。彼はKさんから逃れるように距離を置いてへたり込んだ。Kさんは水筒と黒砂糖、それに蒸かし芋を持って彼の所に行き、水を飲ませ、芋を食べさせ、砂糖を口に含ませた。彼はKさんの前で泣き崩れ、子供の頃に酷い仕打ちをしたことを謝った。泣きながら地面に頭を擦りつけて彼は何度もKさんに詫言った。それは、Kさんの復讐が叶った瞬間だった。号泣する彼をKさんは黙って見ていたと言う。

そこまで話すと、Kさんはまたいつもの緩やかな口調で、本当は誰が残酷なのかわかりません、と言った。私も言葉が出なかった。「おじい」という大きな声と共に子供たちが数人駄菓子屋に入ってきた。Kさんは笑顔で浮かべ席を立った。直接暴力を振るった方が残酷なのか、優しさを装って復讐をしたのが残酷なのか、私には分からなかった。(富永健)

梅雨明け、夏の到来を告げる「地バーリー」開催!!



6月18日(土)、総合福祉センター緑樹苑の中庭で「地バーリー」が行われた。沖繩地方は二日前の16日に梅雨明けが発表され、この日は青空が広がる晴天となった。緑樹苑の地バーリーは沖繩の伝統文化「ハーリー」にちなんで梅雨明けした喜びと初夏の訪れを感じながら利用者の健康と安全を祈願し交流を図ることを目的に行われ、今年で4回目となる。今回の競漕は、介護老人福祉施設緑樹苑、緑樹苑デイサービスセンター、ケアハウスはいびすかず、ケアハウスていんさぐぬ花、給食センター、みどり児童クラブ男女の計7漕が参加した。

競漕前に獅子舞の演舞が披露され会場を景気付けた。その後入場した7漕のハーリー船は集った観客から大きな拍手で迎えられた。



予選バーリーが行われた結果、6漕が本バーリーに進出することができた。勢いの余りに2度転覆し、本バーリー進出を断念した給食センターの山川所長は「残念です。体力の限界です...」と話し、額の汗を拭いた。

本バーリーでは、直線からの折り返し地点でコースをはみ出したり転覆するハーリー船が続出し、笑いとお声援が飛び交う中、熱戦が繰り広げられた。優勝は、みどり児童クラブ男子、二位・同女子、三位・ていんさぐぬ花、四位・緑樹苑、五位・デイサービス、六位・はいびすかずの結果となった。表彰式では浜川統括施設長から各チームに賞品が授与された。はいびすかずの入居者の比嘉泰子さんは「とても面白かった。決勝に進めなかったチームにも賞品をあげたいのね。」と話していた。最後に参加者全員でカチャシーを踊りながら笑顔で終了した。

(山城勝彦)

～短冊に願い込めて～ 各施設で「七夕会」

介護老人福祉施設 緑樹苑

7月7日(木)、介護老人福祉施設緑樹苑で「七夕会」が行われた。

司会が七夕の由来を話す。と入居者の皆さんは興味深げに話を聞いていた。施設長のあいさつのもと、職員による織姫・彦星の寸劇が行われた。また、笹の葉に飾られた短冊には、「美味しいご飯が食べたい」「宝くじが当たりますように」「健康でありますように」などの願い事が書かれ、それが叶いますようにとみんなで祈りを込めた。

最後は七夕の歌をみんなで歌い、カチャシーを踊り、盛り上がるなか七夕会を終えた。(諸見里寿子)



ケアハウスはいびすかず

7月7日は彦星と織姫が年に一度に天の川で再会する日...。ケアハウスはいびすかずでは「七夕会」を開催した。彦星役の伊良部介護員と織姫役の照屋介護員が登場すると盛大な拍手と歓声がこぼれた。



会では、利用者の皆さんが披露された。鮮やかな色彩の衣装をまとった織姫と彦星に、利用者の皆さんから「美人!カッコいい!」と大変好評であった。その後、織姫と彦星と一緒に写真撮影を行い、「また来年逢いましょう!」とカチャシーで賑やかに七夕会を終了した。(喜納兼善)



ケアハウスていんさぐぬ花

ケアハウスていんさぐぬ花では7月7日(木)、七夕会を開催した。はじめに全員で七夕の歌を唄い、盛り上がったところ、星を形どつたゼリーとスイカのおやつを食した。次に職員による余興で、「七夕の由来」の寸劇が



“お父さんいつもありがとう” 父の日祝い会

各施設で感謝を込めてお祝い
ボランティアや職員の余興も



ケアハウス はいびすかす

6月17日(金)、ケアハウスはいびすかすでは、父の日祝い会を開催した。今回は、職員の高良義人さんがボランティアとして訪れ、『前ノ浜』『鳩間節』などの琉舞を披露した。



ケアハウスティんさぐぬ花

6月16日(木)、ケアハウスティんさぐぬ花では、父の日祝い会が開催された。はじめに興古田施設長の開会の挨拶があり、利用者や職員による『かぎやで風』で始まった。



緑樹苑 デイサービスセンター

6月13日(月)、緑樹苑デイサービスセンターでは、父の日祝い交流会が開催された。

初めに比嘉樹主任による三線演奏に合わせて、職員の民踊りや華やかに開会した。次にみどり学童クラブの児童たちの登場で会場はさらに盛り上がった。子ども達の力作！地パリーで使うパリー船でのパレードを行い、可愛い姿に利用者もさらに笑顔があふれた。そして、子ども達から手作りのうちわと肩もみマッサージのプレゼントがあり、小さな手だけで力があつて良いね」との声も上がった。

デイサービスから父の日のプレゼントがあり、父の日祝い交流会は盛大なカチャーシーで幕を閉じた。
(又吉美香)



介護老人福祉施設 緑樹苑



介護老人福祉施設緑樹苑では、6月17日(金)、父の日祝い会を入居者40名及び職員14名の参加で行った。入居者のカラオケに始まり、みなさん好きな歌で自慢の歌声を披露し、満足そうな様子であった。次に、職員の三線演奏に合わせて、『安里屋ユンタ』『十九の春』『いんさぐぬ花』など、入居者の皆さんにおなじみの歌をみんなが合唱した。感動で涙ぐみながら歌う入居者もいた。

最後に男性入居者へ父の日のプレゼント贈呈で終了し、みなさん楽しい時間を過ごすことができた。
(兼城正彦)



第十回 琉球王朝礼楽奉納演奏

6月5日(日)、山内盛彬伝承楽曲保存会主催による第十回琉球王朝礼楽奉納演奏が沖繩平和祈念堂で開催された。

竹とんぼ

今年で10回目となる奉納演奏会には緑樹会からも王府おもろ、首里クエーナ、御座楽など各部会に所属する職員が参加した。演奏に先立ち安仁屋眞昭会長は「6月は沖繩県民にとって慰霊の月です。沖繩がいつまでも争いのない平和の島であることを祈って演奏を捧げます」と挨拶し、献花に続いて会場全体で1分間の黙とうをささげた。



王府おもろ謡きゆる保存会、首里クエーナ保存会、湛水流伝統保存会、啓扇本流船乃会・船越節子琉舞研究所、首里王府路次楽御座楽保存会、混声合唱団ムジカ・ビーバ、首里少年少女合唱団に加え、今年は無形文化財保持者(人間国宝)の照喜名朝一氏を迎え、出演者総数は百名を超えた。10回目の節目にふさわしい演奏会となった。



今年は無形文化財保持者(人間国宝)の照喜名朝一氏を迎え、出演者総数は百名を超えた。10回目の節目にふさわしい演奏会となった。



観客には本土から訪れた観光客の姿もあった。「偶然立ち寄りしました。沖繩ならではの祈りに触れて改めて平和と言うものを考えるきっかけになります。」と初めて見る琉球古楽に感激していた。(金城和郎)



3月からみどり学童に入職しました野崎太郎です。これまで8年間、県外の学童、児童館に携わっていましたが、縁あって緑樹会で働かせていただく事になりました。僕の好きな映画「ロッキー」の中で、「長い時間同じ場所に居続ける」という台詞があります。僕もこの場所に長く居続ける事で「みどり学童」といえば太郎」と言ってもらえる存在になりたいと思います。沖繩に引越してきて早5ヶ月ですが、まだまだ沖繩ならではの発見が続きません。先日びっくりした事がありました。家の近くの道路に「おじい」とびだすという看板が。「子ども飛び出しキケン！」等の文言はよく見かけますが、おじいまで飛び出すとは！沖繩の人は、いくつになっても元気なんだなと思いつつながらも元気に歩行者もドライバーも、みんな守ろう交通ルール！」



みどり学童クラブ 学童指導員 野崎 太郎

シリーズ 職員エッセイ

竹とんぼ

“ゴーヤー勝負(すーぶ)”自慢の一品を寄贈 安慶田老人クラブ宝寿会 園芸愛好会

6月7日(火)、安慶田老人クラブ宝寿会の眞榮城玄昌会長より、介護老人福祉施設緑樹苑にゴーヤーが寄贈された。これは同日開催されたJAコザ支店の園芸愛好会の皆さんによる「ゴーヤー勝負(すーぶ)」に出品されたゴーヤーで、会員の皆さんが手塩にかけて育てた自慢のゴーヤーを持ち寄り形や大きさなどを競い合った。自慢の一品とあって、どれも30〜40センチほどもあり、色艶ともに立派なゴーヤー9.5kgが寄贈された。



安慶田老人クラブ宝寿会の皆さんと出品されたゴーヤー



寄贈されたゴーヤーは調理され、利用者の皆さんに振る舞われた。

(砂川智規)

受け取った緑樹苑給食センターの山川朝輝所長と平良昌子管理栄養士は、「立派なゴーヤーをいただきありがとうございます。利用者の皆さんの食事に使わせていただきます。」と喜んだ。

寄贈されたゴーヤーは、6月10日(金)に調理され、介護老人福祉施設緑樹苑と給食サービスの昼食時のおかずの一品として利用者の皆さんに振る舞われた。

緑樹苑 ティーサービスセンター アルプホルン演奏会(山口県)蔵田亜由美さん来苑



(安里和美)

6月29日(水)、山口県在住の蔵田亜由美さんが緑樹苑ティサービスセンターを訪れ、アルプホルン演奏を披露した。利用者の皆さんは初めて見る大きな楽器に驚きの声を上げていた。ホルンの音色は低めの音で、人の声に近く、眠気を誘うような心地の良い音。利用者からも「気持ちがいいね」と声があつた。演奏会では、沖繩の民謡「安里屋ユンタ」や「芭蕉布」など、皆さんおなじみの曲が演奏され、利用者の皆さんも曲に合わせて歌を口ずさんでいた。ホルンの音色に癒され、感動して涙ぐむ方もいた。演奏後は、長いアルプホルンにあまり触れてもらい、長寿を願った。最後は全員でカチャシーを踊り閉会した。



8月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(月)		手芸クラブ	音楽ボランティア交流会		
2(火)		三線	輪投げ		
3(水)		ミニシアター			
4(木)		カラオケクラブ	映写会	ハンドマッサージ・映写会	
5(金)	夏まつり			手芸クラブ	沖縄タイムス工場見学
6(土)			カラオケ		園外活動
7(日)			体重測定		
8(月)		書道クラブ	手工芸		
9(火)		三板クラブ	防災訓練		倉敷ダム
10(水)		防災訓練	ていんさぐぬ花涼み会	手作りおやつ会	
11(木)	防災訓練		スカッシュボール	防災訓練	学童休園日
12(金)		おやつ会	ボウリング	手芸クラブ・映写会	エイサー講座
13(土)			映写会		朗読会
14(日)					
15(月)	ウンケー	お茶クラブ			
16(火)	緑樹苑エイサー	三線・エイサー	道ジュネー(エイサー)	エイサー	
17(水)	ワークイ	ミニシアター			
18(木)		カラオケクラブ・美化活動	釣りゲーム	誕生会	
19(金)			スカッシュボール	手芸クラブ	
20(土)			手工芸	映写会	園外活動
21(日)					
22(月)		書道クラブ	ボウリング	夏祭り	
23(火)		三板クラブ	輪投げ		おきなわワールド
24(水)	防災訓練	防災訓練	誕生会	防災訓練	
25(木)	誕生会	散髪	散髪		
26(金)		ドライブ		手芸クラブ・手作りおやつ会	こどもの国
27(土)			映写会		朗読会
28(日)					
29(月)		誕生会	スカッシュボール	映写会	
30(火)			民踊り		
31(水)			釣りゲーム		

感謝録

(平成二十八年六月一日〜六月三十日)

(ボランティアの部)

四谷琉球倶楽部 様

高良 義人 様

蔵田 亜由美 様

(物品の部)

安慶田老人クラブ

宝寿会 様

編集後記

十数年前に購入したものです。今でも時々読み返す本があります。行き詰った時などにパラパラとめくっていると何らかのヒントに繋がる言葉が見つかるので重宝しています。

この本の『機会』のページで次のことが書かれています。『世界は機会に満ち溢れている。中略』ジョン・ガードナーは次のように述べている『問題というのは全て、巧みに姿を変えた機会なのである』『中略』マーク・トゥエインも苦い経験を通してこのことを学んだ『機会がもはや機会でなくなる前に、それが機会だと見抜けたことはめったにない』と。

皆さんも今日の今、この瞬間にも、何らかの出来事に遭遇していることと思います。それを『機会』としてとらえるかは自分次第です。

(砂川智規)

温かい御支援、御協力下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。